

がん専門医に聞く

シリーズ 第1回

富山労災病院 第二外科部長

よしもと かつひろ
吉本 勝博

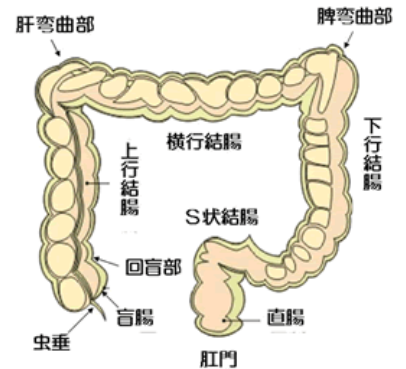
－大腸癌について（1）－



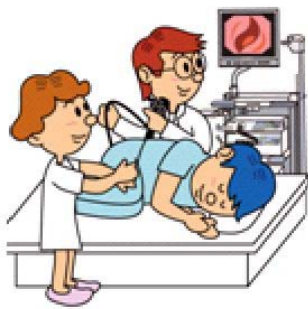
近年我が国では、食生活の欧米化に伴い大腸癌が増えており、最近のデータでは大腸癌による死亡率は男性で第4位、女性では第3位(直腸癌を含めると第1位)となっています。ただし、たとえ大腸癌と診断されても早期に発見できれば完治することも可能ですので、早期発見、早期治療が大切ということになります。

そこで、今回は大腸癌の診断に関してお話しさせていただきます。

大腸癌の検診として一般的に行われているのは便潜血反応検査です。市町村の検診として行われており2日分の便を提出し血が混じっていないかを調べます。そこで1日でも陽性であった場合には再検査が必要となり、病院を受診していただき精密検査を行います。



精密検査には注腸造影検査と大腸内視鏡検査があり、さらに大腸内視鏡検査にはS状結腸までを観察する短い内視鏡検査と大腸すべてを観察する全大腸内視鏡検査があります。注腸造影検査は大腸に造影剤と空気を注入しレントゲン撮影を行いますが、小さな病変を見逃す可能性もあり、できることなら内視鏡検査(特に全大腸内視鏡検査)を行い癌がないことをしっかり確認することが望ましいでしょう。また内視鏡検査では、たまたま見つかったポリープを内視鏡的に切除することも可能です。



次回は大腸癌の治療に関してお話しさせていただく予定です。

ご質問やご相談は地域医療連携室までまた、富山労災病院ホームページもご覧ください

発行：独立行政法人労働者健康福祉機構
富山労災病院 地域医療連携室
〒937-0042 魚津市六郎丸 992

TEL：0765-22-1354
Fax：0120-935-631 (フリーダイヤル)

富山労災病院 救急外来からのお知らせ

富山労災病院では終日救急患者の診療を行っております。また、平日の午後5時以降および休日は救急外来を開設しており、病状により専門医師が診療いたします。受診される場合 22-1280 までお電話下さい。



医師紹介コーナー



外科副部長 竹下 雅樹 (たけした まさき)



私たち外科が扱っている臓器は食道、胃、小腸、大腸、肝臓、すい臓、胆のう、乳腺など幅広く、病気も各臓器のがんから痔核、ソケイヘルニア、虫垂炎、胆のう炎など多彩です。当院は外科を中心にがん拠点病院としてがん治療に積極的に取り組んでいます。以前は手術が治療の大部分を担っていましたが、最近では治療の三本柱として放射線治療や抗癌剤治療といった治療も行います。抗がん剤治療は危険な治療という印象をお持ちの方がおられますが、最近

は安全に施行できるように工夫されて、必ずしも入院を必要とせず、外来で施行可能となりました。また、4月より放射線治療も当院で可能となり、一連の治療を以前よりスムーズに施行できるようになります。また、緩和治療といわれるがんによる苦痛をとる治療も行っております。いろいろな治療の選択肢を提供し、患者さんが納得の行く治療を安全に受けられることを目指しています。

4月1日より放射線治療が始まります。

放射線治療は『手術』・『抗がん剤』と並ぶがん治療の1つで、がん細胞に高エネルギー放射線をあてて腫瘍を小さくさせる治療法です。

治療中は痛みや熱さは感じませんし、治療を行う範囲以外には放射線による影響は生じません。ですから必ず髪の毛が抜けてしまうということもありません。また放射線による家族の方への影響もありません。

放射線治療は体を切らずにがんの治療ができ、体への負担が少ないという長所があり、通院での治療も可能です。



専門外来の紹介

物わすれ外来：(月)(木) 午前10時～12時

頭痛外来：(火)(木)(金)

午前11時～12時

しびれの外来：(月)～(金) 午前9時～12時

関節外来：(月)～(水) 午前9時～12時

腰痛外来：(水) 午後1時30分～4時

リウマチ外来：(火) 午前9時～12時

尿失禁外来：(水) 午後1時30分～3時